

日本フンボルト協会  
2024年度 会員総会

2024年6月8日（土）

オンラインと 会場：ドイツ文化会館 4F OAG 会議室

時間	プログラム
14:00 - 14:50	==日本フンボルト協会 2024 年度会員総会== <b>理事長選出報告 理事長挨拶</b> ① 2023 年度の活動報告 （資料 1） ② 2024 年度の活動方針 （資料 2） ③ 2023 年度の決算報告・2023 年度予算案 （資料 3） ④ 奨学金基金と財政安定化基金の会計状況について （資料 4） ⑤ 監査報告 （資料 5） ⑥ 2024 年度日独共同研究奨学金（採択結果等）について（資料 6） ⑦ その他
15:00 - 16:00	==講演会== 題目：『海洋・地球生命フロンティアの探究と持続可能性について』 講演者：稲垣史生 先生（2023 年シーボルト賞受賞）  国立研究開発法人海洋研究開発機構・ 東北大学 変動海洋エコシステム高等研究所（WPI-AIMEC）副研究所長・ 研究部門長

（16：30-18：00 現地参加の会員向け懇親会開催）

主催：日本フンボルト協会

## 1. 2023 年度年次総会について

- ・2023 年度総会を、ハイブリッド方式で開催した。会場はドイツ文化会館 4 階 OAG 会議室で 常務理事・理事 拡大理事会（13 時 15 分から～14 時）を開催しその後、会員総会（14 時～15 時）が行われた。

講演会は合田 圭介会員（東京大学大学院理学系研究科化学専攻教授、2022 年度シーボルト賞）にお願いした。

テーマ：「どうなる！？ニッポンの科学」 司会：西川 伸一 会員（京都大学名誉教授）

参加者：対面式 20 名 オンライン 60 名。懇親会は 1 階のレストランで開催した

- 合田会員の許諾を得たうえで、会員用ホームページに期間限定で講演資料を掲載した。

## 2. 協会運営の諸会議について

- ・常務理事会を 2023 年 6 月 11 日（土）、8 月 26 日（土）、12 月 23 日（土）、2024 年 3 月 30 日（土）に、いずれも Zoom 形式で実施した。

## 3. ドイツ研究留学説明会の開催

- ・2024 年 3 月 16 日に DAAD との共催でドイツ研究留学説明会をオンラインで開催した。フンボルト奨学金、DAAD 奨学金の説明を全体説明会として行ったのちに、専門別分科会、ドイツ滞在中の子育てについての情報交換を行う子育て家族分科会を行った。147 名の登録があり、120 名前後の参加があった。参加者を対象に、個別に情報提供や相談を行うフォローアッププログラムを行った。また、全体説明会のビデオを協会のウェブサイトで公開し、留学希望者の利便を図った。

## 4. 日独学術情報発信について

- ・日本フンボルト協会主催・共催の Zoom 講演会をオンラインで以下の要領で開催し、毎回多くの参加者があり、活発な意見交換がなされた。

DAAD 友の会をはじめ、他のアルムニ会にも案内を出して、参加を募集した。

## 《「日常の扉をあけるーゲートの『親和力』とその時代ー》

Covid-19 シリーズ第 8 回

日時：2023 年 11 月 11 日（土）14 時～16 時 参加者：50 名

登壇者：高橋義人会員（京都大学、当会常務理事）、岡林洋会員（元同志社大学、当会常務理事）  
守矢健一会員（大阪公立大学、当会常務理事）

司会： 縣 公一郎会員（早稲田大学、当会副理事長）

## 《「ChatGPT に代表される生成 AI の社会的影響を考える」第一回 医学・生命科学の大変革》

日時：2024 年 1 月 13 日（土）16 時～18 時 参加者：80 名

1. 趣旨説明 西川伸一 会員（京都大学名誉教授）

2. 清田 純 博士（理化学研究所）

「ニューラルネットや Transformer/attention など AI の基礎になるモデルについて」

3. 対談 清田 純 博士（理化学研究所）

西川伸一 会員（京都大学名誉教授）

鈴木晶子教授（京都大学名誉教授）

## 《AI 第二回オンラインシンポジウム《AI との共生がもたらす学術へのインパクト》》

日時：2024 年 5 月 11 日（土）16 時～18 時 参加者：50 名

登壇者 1：\* 熊谷 誠慈 先生（京都大学 人と社会の未来研究院教授）

「伝統知テックとこころテック：文理融合で明るい未来を創出！」

登壇者 2：\* 鈴木 晶子 先生（国際高等研究所 主席研究員、京都大学名誉教授）

「AI との共生とヒューマン・トランスフォーメーション (Human Transformation: HX)」

（司会）西川伸一 会員（京都大学名誉教授）

## 5. 支部活動について

- ・新型コロナウイルス感染が収束する中、各支部ともオンライン形式で幹事会、総会、Zoomによる講演会などを開催し、支部活動の活性化に努めた。  
以下がZoomで開催された支部主催の講演会です。

### \*\*\*北海道支部\*\*\*

#### ① 2023年度“Humboldt-Forschungspreis”受賞記念講演会

日時：2023年7月8日（土）15:00-16:00

講演者： Prof. Dr. David Wolff（北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター教授）

講演題： The Russian Eagle Looks Both Ways: East and West and the Rhythm of Modern Russian History（ロシアの鷲は両手を見る：東洋と西洋とロシア近現代史のリズム）

#### ② 2023年度北海道支部主催講演会 Zoom 配信

日時：2023年9月23日（土）15:00-16:00

講演者：Prof. Dr. Olaf Karthaus（公立千歳科学技術大学・教授）

講演題：『「マイクロプラスチック」は新しい環境問題ですか？』

### \*\*\*東北支部\*\*\*

《2023年度 東北支部 2023年度総会における講演会 Zoom 配信》

日時：2023年9月23日（土）12:00 - 13:15

講演者：千葉柘司教授（東北大学大学院理学研究科天文学専攻天文学講座）

講演第：「近傍宇宙論：古い星に刻まれた銀河形成史と暗黒物質の正体」

### \*\*\*関東甲信越支部\*\*\*

～～2023年度総会における講演会～～

#### ①日時：2024年1月21日 16:15～17:15

講演者：澤田誠二会員および浅野忠利氏

講演題：『近現代の「住宅・まちづくり」—ドイツ・日本にその系譜をたどり、共同研究の道を探る』

#### ②オンライン講演会 「刑罰の思想と歴史」

日時：2024年5月25日（土）午後14時から15時半

講演題① 「刑罰の思想史」

講演者：井田良会員（中央大学法科大学院教授）

講演題② 「伏魔殿での裁判」

講演者：香田芳樹 会員（元慶應義塾大学教授）

### \*\*\*中部支部 \*\*\*

2023年度総会におけるZoomオンライン講演会

日時：2023年12月10日（日）13:30-15:00

講演者：北村陽子 氏（名古屋大学文学研究科准教授）

講演テーマ：「20世紀ドイツにおける福祉国家の発展—戦争障害者支援をもとに」

### \*\*\*関西支部\*\*\*

2023年度総会における講演会

日時：2024年3月3日（日）14:00～16:00

講演会テーマ：

「最新技術による医学研究と日本・欧米における自然科学研究推進に対する取り組みの違い」

講演1：「難治性免疫疾患のシングルセル解析による病態解明」

藤井 渉会員（京都府立医科大学 免疫内科学 病院助教）

講演2：「がん病態の多様性の中にある普遍性」

林 嘉宏先生（立命館大学 薬学部薬学科 腫瘍病態制御学教授）

\*\*\*中四国支部\*\*\*

「支部通信」を作成し、メール等で配信した。

\*\*\*九州支部\*\*\*

日時：2024年4月25日（木）18時30分～20時

講演者：土井和重先生（北九州市立大学法学部）

講演題：「学説と実務の協働を可能にする日本法研究—日本法研究の新たな担い手とその可能性」

6. 第5回日独共同研究奨学金 2023年度日独共同研究奨学金採択者について

2023年度、第5回日独共同研究奨学金の募集を実施し、4件（理系3件、文系1件）の申請があり、選考委員会で審査が行われた。\*\*\* 5月24日に12名からなる日独共同研究奨学金の選考委員が審査した結果、以下の通り授与することを決定いたしました。\*\*\*

2022年度分が1件辞退されたので、2023年度分は3件の採択となった。

\*\*\*\*\*

1. 課 題：『超高速蛍光寿命イメージングによる細胞内小器官の大規模解析』  
(ドイツ語) Großflächige Analyse intrazellulärer Organellen

durch ultraschnelle Fluoreszenz-Lebensdauer-Bildgebung

助成対象者： Vishnu Narayanan Suma Sreechakram,

学 歴: Indian Institute of Science Education and Research, Bhopal (MS)

所 属: Justus-Liebig-University Giessen, 研究分野: Biological Sciences

申請者： 合田 圭介（東京大学大学院理学系研究科）

研究分野: 物理学、化学

\*\*\*\*\*

2. 課 題：『日本の一党支配体制における立法上の野党の役割』

(ドイツ語) Die Rolle von Oppositionsparteien in der Legislative im  
von einer Partei dominierten System Japans

助成対象者： Elena Korshenko

学 歴： ロンドン大学 School of Oriental and African Studies 修了 (2013/12)

東京大学社会科学研究所 客員研究員 (2017/4～10、2018/10～2019/3)

所属機関： ベルリン自由大学 歴史・文化学部日本研究所

研究分野： 日本政治

申請者： 小嶋 大造（東京大学大学院農学生命科学研究科）

研究分野： 公共政策（農業政策、財政政策）

\*\*\*\*\*

3. 課 題：『原子核時計実現に向けたトリウム229イオンのレーザー冷却技術の開発』

(ドイツ語) Entwicklung einer Laserkühltechnologie für Thorium-229-Ionen  
zur Realisierung einer optischen Uhr

助成対象者： Johannes Tiedau

学 歴： PhD student (Universität Paderborn) (2015/11～2020/3)

学位取得 (Universität Paderborn) (2020/9)

Postdoc (Physikalisch-Technische Bundesanstalt) (2020/10～)

研究分野： 原子時計・イオントラップ・量子光学

申請者： 山口 敦史（専任研究員、国立研究開発法人 理化学研究所）

研究分野： 原子時計・原子のレーザー精密分光・イオントラップ

\*\*\*\*\*

7. 「日本フンボルト協会ニューズレター」（Nr. 11 2023年9月）を刊行した。

以上

## 1. 2025 年度年次総会について

- ・利便性を考慮して、今回同様、対面・オンラインを併用したハイブリッド方式にて、開催時期、開催場所等について、引き続き常務理事会で検討していく。対面懇親会を継続し、会員間の直接交流を促進していく。

## 2. 留学説明会について

- ・ドイツ研究留学説明会をオンラインで開催し、フォローアップ希望者を対象にフォローアッププログラムを実施する。説明会については、昨年度までに行ってきた全体説明会と分科会の組み合わせを基本とし、詳細については担当者で協議の上実施する。

## 3. 学術情報発信について

- ・日本フンボルト協会による日独学術情報発信の一環として、アクチュアルな学術テーマについて、本協会主催の講演会や討論会などを、ハイブリッド方式、もしくはオンライン方式にて引き続き積極的に開催する。

## 年次講演会

- ・日時：2024 年 6 月 8 日(土) 15:00-16:00 ハイブリッド方式
- ・講演者：稲垣史生 会員（2023 年シーボルト賞受賞）  
国立研究開発法人海洋研究開発機構・東北大学 変動海洋エコシステム高等研究所  
(WPI-AIMEC) 副研究所長・研究部門長
- ・演題：『海洋・地球生命フロンティアの探究と持続可能性について』

## 生成 AI に関する Zoom 講演会

2024 年 5 月 13 日に実施した第二回に続き、年度内に 1 - 2 回の講演会を企画する。

25 年度年次講演会：24 年シーボルト賞受賞者に講演を打診する。

- ・日独学術交流に関する日本フンボルト協会主催の講演会や討論会についての情報を、要請に応じて、他のアルムニクラブや学会などに提供し、フンボルト協会の活動に関する発信に努める。

## 4. 日独学術交流の促進について

- ・日独学術交流を一層発展させるために、それぞれの学術分野において、さまざまな方策を検討していく。

## 5. 支部活動について

- ・各支部の活動の一環として、例えば DAAD 友の会と連携した企画を検討するなど、支部活動の一層の活性化を進める体制を、協会本部としてもサポートしながら構築していく。

## 6. 協会会員について

- ・日本フンボルト協会の会員数を増やすための方策のひとつとして、昨年度に引き続き、シーボルト賞など、日独学術交流に関する各賞受賞者に賛助会員としての入会を要請するなど、新会員の獲得を図る。

## 7. 協会財政安定化について

- ・会費未納会員に対する対応策を引き続き検討すると同時に、各方面に本協会活動への理解と支援を求めていく。

## 8. 第 7 回日独共同研究奨学金制度

- ・広く本奨学金制度を周知することにより、申請数の増加に努めると同時に、優秀なプロジェクトへの同奨学金制度によるドイツ研究者との共同研究の助成を、引き続き推進する。

以上

## 日本フンボルト協会 2023年度予算・決算、2024年度予算（案）

（2024年03月31日）

(収入の部)					
	項 目	2023年度予算	2023年度決算	2023年度 明細	2024年度予算
1	年会費	2,400,000	1,944,000	486口（内訳：2022年度2口、2023年度482口、2024年度1口、2025年度1口）	2,200,000
2	利息	20	9	普通預金利子	20
3	寄付	50,000	29,000	下記参照	30,000
4	フンボルト財団支援金	84,700	85,219		0
5	総会懇親会参加費	30,000	34,000	2,000円×17人	30,000
6	収入小計	2,564,720	2,092,228		2,260,020
7	前年度繰越金	1,425,712	1,425,712		1,019,998
8	収入計	3,990,432	3,517,940		3,280,018
(支出の部)					
	項 目	2023年度予算	2023年度決算	2023年度 明細	2024年度予算
9	総会・説明会等開催費	150,000	112,524		120,000
10	支部運営助成費	600,000	410,000	北海道(100,000+講演会補助10,000) 関東甲信越支部(200,000) 中部支部(100,000)	580,000
11	会合費	30,000	16,000		30,000
12	シンポジウム、講演会等謝礼（新）	100,000	40,000	講演会の謝金	100,000
13	通信費	200,000	226,251	会費請求・ニューズレターの送付等、 電話使用料（友の会と折半で）16,250	200,000
14	印刷・複写費	100,000	78,939	会報印刷など	100,000
15	事務所施設利用費	50,000	48,957	（以下DAAD友の会と折半で） 電気代21,457 事務所清掃代27,500	50,000
16	事務経費（名称変更）	100,000	63,841	Zoom設定費22,755、事務用品費	220,000
17	事務局人件費	1,400,000	1,399,300	事務局員への謝金、 発送の手伝い要員の費用、交通費	1,400,000
18	振込手数料等	5,000	4,630	銀行振込手数料、ゆうちょ銀行手数料	5,000
19	予備費	100,000	68,500	DAAD東京事務所長接待、浅田先生偲ぶ会参加 費用	100,000
20	寄付金払い出し（新） （12月22日に寄附口座に 振替済）	50,000	29,000		30,000
21	支出小計	2,885,000	2,497,942		2,935,000
22	次年度繰越	1,105,432	1,019,998		345,018
23	支出計	3,990,432	3,517,940		3,280,018
(備考)					
① 日本フンボルト協会寄附口座 預金額 1,806,816円（2022.03.31） 2023年度は大森先生夫人から30,000円、中四国支部の残金として972,641円、6会員より35,000円 （西川伸一会員、山原康佑会員、河野宏会員、櫻田嘉章会員、小林俊郎会員、渡辺紀徳会員より） 利息20円 合計 <b>2,844,477円</b>					
② 2011年度アルムニ賞賞金25,000ユーロ=2,764,193円（利子を含む）は、ホームページと留学支援サイトの構築のためにあてられた。現在、 <b>残額が115,683円</b> である。フンボルト財団の了承を得て、残額は、「ホームページ管理特別基金」の下におき、ホームページの維持管理のために使用する。（年間維持費 44,000円）					
③会費納入会員数の推移(2015) 797 / (2016) 698 / (2017) 635 / (2018) 632/ (2019) 617/ (2020) 575/ (2021) 636/ (2022) 600 / (2023)/487/ (2024)1/ (2025)1					

(資料4)

日独共同研究奨学金基金及び協会財政安定化基金 (2024年03月31日現在)

《日独共同奨学金基金 口座》

収 入		支 出	
会員からの寄付 (2019年9月30日まで)	5,540,000円	2019年度2件分奨学金支給	1,000,000円
会員からの寄付 (2019年10月以降)	145,000円	印刷、事務用品(2019年度)	10,815円
外部の個人・企業からの寄付	4,840,000円	送金手数料	29,908円
利息 (2020年8月まで)	113円	2020年度2件分奨学金支給	1,000,000円
利息(2021. 02. 22)	39円	印刷、事務用品(2020年度)	9,946円
利息(2021. 08. 23)	36円	送金手数料	880円
利息(2022. 02. 21)	33円	2021年度2件分奨学金支給	1,000,000円
利息(2022. 08. 22)	32円	送金手数料	550円
利息(2023. 02. 20)	29円	2022年度2件分奨学金支給 (2022. 09. 13)	500,000円
利息 (2023. 08. 21)	29円	送金手数料	550円
利息 (2024. 02. 19)	24円	2023年度3件分奨学金支給 (2023. 09. 13)	1,500,000円
		送金手数料	990円
		残 高	5,471,696円
合 計	10,525,335円	合 計	10,525,335円

《財政安定化基金 口座》

収 入	
会員からの寄付 (2019年9月30日まで)	2,000,000円
会員からの寄付 (2019年10月以降)	31,000円
利 息 (2020年8月まで)	15円
利息(2021. 02. 22 )	9円
利息(2021. 08. 23 )	9円
利息(2022. 02. 21 )	9円
利息(2022. 08. 22 )	9円
利息(2023. 02. 20 )	9円
利息(2023. 08. 21 )	9円
利息(2024. 02. 19 )	9円
合 計	2,031,078円

(備考) ①寄付金振込手数料は、当初、日本フンボルト協会会計(予備費)から補填した。寄付期間終了後に、奨学金基金から振込手数料を支出し、日本フンボルト協会(予備費)に返金した。

② 2019年10月1日以降(募金締切以降)会員から振り込まれた174,000円は、奨学金基金と財政安定化基金に 5 : 1の割合で、それぞれ145,000円と29,000円を振り分けた。

(2020年4月4日の常務理事会で承認)

2023年度監査報告書

日本フンボルト協会

理事長 伊藤 眞 殿

私は、日本フンボルト協会の監事として会則の定めるところに基づき、  
本会の2023年4月1日より2024年3月31日に至る期間の会務  
の執行および会計収支の状況につき監査を行いました。

監査の結果、上記の期間において会務が適切に執行されており、また関係  
するすべての書類が収支と財産の状況を適正に示していることを確認  
いたしました。

以上、ご報告いたします。

2024年 5 月 29 日

監事 芳賀 雅顯

監事 吉川 泰弘





2024 年度日独共同研究奨学金採択プロジェクト

(2024.06.08)

1. 課 題：「実験用ミニブタの成獣を用いた、ヒトへの外挿性の高い精神疾患の前臨床モデルの創生」

ドイツ語：Entwicklung eines präklinischen Modells in Minischweinen mit translationaler Relevanz für psychiatrische Störungen

助成対象者：Nadine Bernhard

学 歴： Leipzig 大学卒業、Uppsala 大学博士、Yale 大学博士研究員、Dresden 大学 Habilitation

所属： Head, Section Neurobiology of Psychiatric Disorders, TU Dresden

研究分野： 実験心理学的な周産期環境因子の研究（ラット、ヒト）

申請者： 高垣堅太郎（山梨大学医学部 准教授、脳神経生理学、発達解剖学、ブタを用いたライフスパン脳生理学）

\*\*\*\*\*

2. 課 題：「ドイツ語の項構造同定を目的とする解析システム（パーサ）の開発」

ドイツ語：「Die Entwicklung eines Parsers zur Identifizierung der Argumentstrukturen im Deutschen」

助成対象者：Julian Michael Stawecki

学 歴： PhD (2024), Wissenschaftlicher Mitarbeiter, Heinrich-Heine-Universität Düsseldorf

所属： Heinrich-Heine-Universität Düsseldorf

研究分野： Germanistische Linguistik/Computerlinguistik

申請者： 宮下博幸（関西学院大学教授、ドイツ語学、関西学院大学）

\*\*\*\*\*